

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 341

所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当者名	松村 雅枝
事業名	地域活性化・経済危機対策事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	保健センター管理運営費			政策体系	141
会計	一般会計	科目	4. 衛生 - 1. 保健 - 6. 地域		

1. 事業の概要

市民が安全・快適に市内各保健センター（4ヵ所）の利用ができるよう、老朽化した設備の改修と、必要備品の購入を行った。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

安心安全に生活できるよう、市民自らが健康づくりに取り組む為の拠点施設の環境整備を行う。又、地域の活性化目的に、地元業者さんによる業務委託等を行う。

② 事業を実施する必要性

各保健センターを市民が安全に利用するために、老朽化した施設の改修等が必要である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				4,204			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0			
	国・府支出金	千円			3,900			
	地方債	千円			0			
	一般財源	千円			304			
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.19			
人件費	千円	—	—		1,583			
事業費総額	千円	—	—		5,788			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

① 日吉保健センター	カーテン取替え	180,075円
	便所洋式化工事	812,700円
	洗濯機購入	33,915円
② 八木保健センター	エアコン設置	378,000円
	電子レンジ購入	49,875円
	便所洋式化工事	546,000円
	クロス張替え	214,935円
③ 園部保健センター	給油配管工事	330,750円
	地下タンクリモコン液面計取替	365,000円
	洗濯機購入	123,900円
④ 美山保健センター	クロス張替え	201,600円
④ 調理器具殺菌保管庫購入（3箇所）		677,250円
	フードモデル購入	290,430円

5. 事業結果の概要

各保健センターとも、乳幼児から高齢者までが安心して利用できる施設環境となった。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
エアコン設置		
八木保健センターの故障したエアコンを新設した。	平成21年9月～10月	室温調整が可能となり、快適に業務が遂行できた。
カーテン取替え業務		
老朽化した、日吉保健センターのカーテンを取り替えた。	平成21年9月～10月	新しいカーテンで建物の遮光ができ、利用者が快適に施設の利用ができた。
クロス張替え		
美山保健センター及び、八木保健センターの老朽化したクロスの新張替えを行った。	平成21年9月～11月	安全・快適に施設が利用できた。
こむぎやま健康学園給油配管他修繕工事		
老朽化した園部保健センターの給油配管等の修繕工事を行った。	平成21年9月～10月	安全に利用者が施設の給湯設備を利用できた。
フードモデル購入		
栄養指導に必要なフードモデルを購入した。	平成21年9月～9月末	栄養士が集団健康教育や個別の指導等に活用している。
洗濯機購入		
園部保健センターに洗濯機を設置。又日吉保健センターの故障した洗濯機を買い変えた。	平成22年2月	業務後のタオルやシーツが衛生的に保たれた。
調理殺菌保管庫等購入		
保健センターの調理室を清潔に保つためまな板・包丁の殺菌保管庫を購入した。	平成21年9月～9月末	園部・八木・日吉の保健センターに設置した
電子レンジ購入		
未設置であった八木保健センターに電子レンジを設置した。	平成22年3月	調理実習等のバリエーションが拡大した。
便所洋式工事		
八木保健センター・日吉保健センターの和式トイレを洋式トイレに交換した。	平成21年10月～11月	高齢者等が施設の利用が容易になった。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

地域経済の活性化と老朽化した施設の更新並びに備品の充実が図られた。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--